# 2025 年度（令和 7 年度）温室効果ガス排出状況

（1）温室効果ガス排出量（基準年度比）

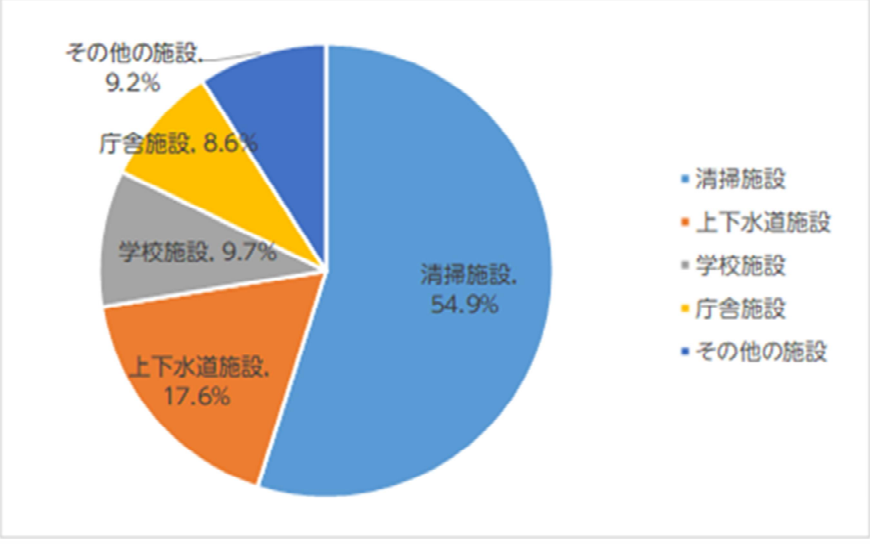
2025年度の温室効果ガス排出量は、基準年度である2013年度の 16,189t-$CO_2$から、12,954 t-$CO_2$となり 3,235 t-$CO_2$減少しました。

また、エネルギー起源二酸化炭素は 18％の減少、非エネルギー起源二酸化炭素は 22％減少しました。

| エネルギー種別 | | 2013 年度（基準年度）排出量（t-$CO_2$） | 2025 年度（令和 7 年度）排出量（t-$CO_2$） | 基準年度比 |
|---|---|---|---|---|
| エネルギー起源二酸化炭素 | | 8,336 | 6,831 | −18% |
| | 電気 | 6,663 | 5,473 | −18% |
| | 灯油 | 695 | 415 | −40% |
| | 軽油 | 304 | 187 | −38% |
| | ガソリン | 278 | 283 | 2% |
| | ガス（LPG） | 266 | 215 | −19% |
| | 重油 | 130 | 64 | −51% |
| | 都市ガス | — | 194 | — |
| 非エネルギー起源二酸化炭素 | | 7,853 | 6,123 | −22% |
| | 廃プラスチック類の焼却 | 7,853 | 6,123 | −22% |
| 計 | | 16,189 | 12,954 | −20% |

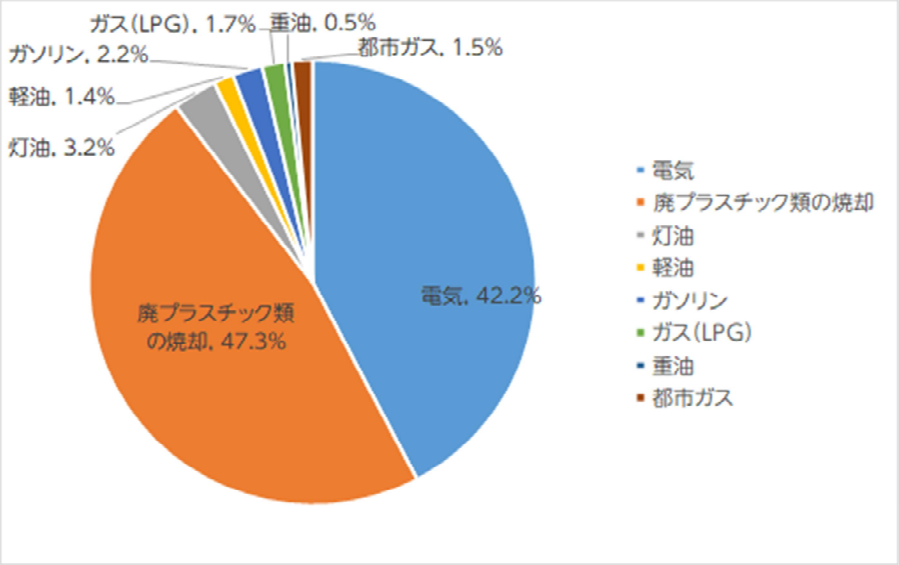
（2）施設別の温室効果ガス排出量の割合

清掃施設が全体の 54.9％を占め、次いで上下水道施設 17.6％、学校施設 9.7％、庁舎施設 8.6％となっています。



(3)エネルギー種別の温室効果ガス排出量の割合

エネルギー種別では、廃プラスチック類の焼却(47.3%)と、電気(42.2%)で全体の 89.5%を占めています。




(4)温室効果ガス別削減目標

温室効果ガス排出量 12,954 t-$CO_2$のうち、エネルギー起源二酸化炭素が 6,831t-$CO_2$、非エネルギー起源二酸化炭素が 6,123 t-$CO_2$となっています。

